

美浜町の主な北前船関連資料

| 名称 | 伝来地区 | 概要 |
|-------------------------------|------|---|
| 金毘羅神社旧蔵 船絵馬 | 丹生 | 敦賀の北前船の船主または乗船した水夫が奉納したと考えられる北前船を描いた3点の絵馬。享和2年(1802)の記年がある1点は船絵馬として、県内最古級。現在は歴史文化館所蔵資料。 |
| 裂織 | 菅浜 | 菅浜に住した北前船頭が着した羽織。裂織は古い布地を裂き織り直した厚手の織物で裏地には刺し子が施されており、北前船で訪れた地で船頭が手に入れたものと考えられる。 |
| 幟旗 | 坂尻 | 船名「榮丸」を表す旗と同船名が入った金毘羅神社への奉納旗。坂尻の北前船主家に伝来した。 |
| 船絵馬『 <small>うわせ</small> 宇波西丸』 | 久々子 | 久々子の北前船主が所有していた歴代の船を描かせた絵馬。それぞれ北前船・合いの子船・洋式帆船の特性を持つ船が3隻並ぶ構図は珍しい。 |
| <small>さき</small> 佐支神社 御座船 | 久々子 | 明治45年(1912)佐支神社の工事に際し、ご神体の遷宮のために北前船主が寄進した御座船。上記の「宇波西丸」を模して制作されたと伝わる。 |
| 和磁石 | 久々子 | 「宇波西丸」を運航した船主家に伝わる方位磁針。同家には同じく北前船に関連する船箆箆や免状・地図なども伝来する。 |
| 船名札 | 早瀬 | 早瀬の北前船主家に伝わる「明德丸」と船名を表す木札。同家は明德丸以外にも複数の船を所有しており、明治時代には北前船による廻船業から発展しロシアウラジオストックに進出した。 |
| 船往来文書 | 早瀬 | 上記とは別の北前船主家が所蔵する。早瀬に着岸出来ない大型の北前船の積荷運搬のため運行されていた小廻船の往来を認める明治6年(1873)の書状 |
| 日吉神社 模型船 | 早瀬 | 境内に安置される模型船。北前船主により、自身の船をモデルとして奉納されたと考えられる。 |
| <small>みなづき</small> 水無月祭・神輿 | 早瀬 | 水無月祭は日吉神社の神事であり、その神輿は幕末に作られたと伝わる。神輿の御神鏡には願主として北前船主の名が刻まれている。 |
| 子供歌舞伎・曳山 | 早瀬 | 子供歌舞伎は日吉神社の神事として執り行われ、県内唯一の現存する伝統的な歌舞伎。曳山は早瀬の北前船主などが中心となり、安政4年(1841)に建造された。 |
| <small>えびす</small> 蛭子神社 常夜灯 | 早瀬 | 早瀬村中に祀られる蛭子神社の石造常夜灯は19世紀に建立されており、日吉神社の常夜灯とともに、北前船が夜の海上から早瀬の位置を見失わないための目印にしたと思われる。 |
| 早瀬区有文書 | 早瀬 | 早瀬区に伝わる計1,000点を超える古文書群。北前船や船主に関する文書が多数含まれる。 |
| 千歯扱き | | 江戸末期から大正時代にかけて早瀬の特産品であった脱穀器。鉄などの材料の輸入や製品の輸送など、その産業の発展には北前船も深く関わっていたと考えられる。 |